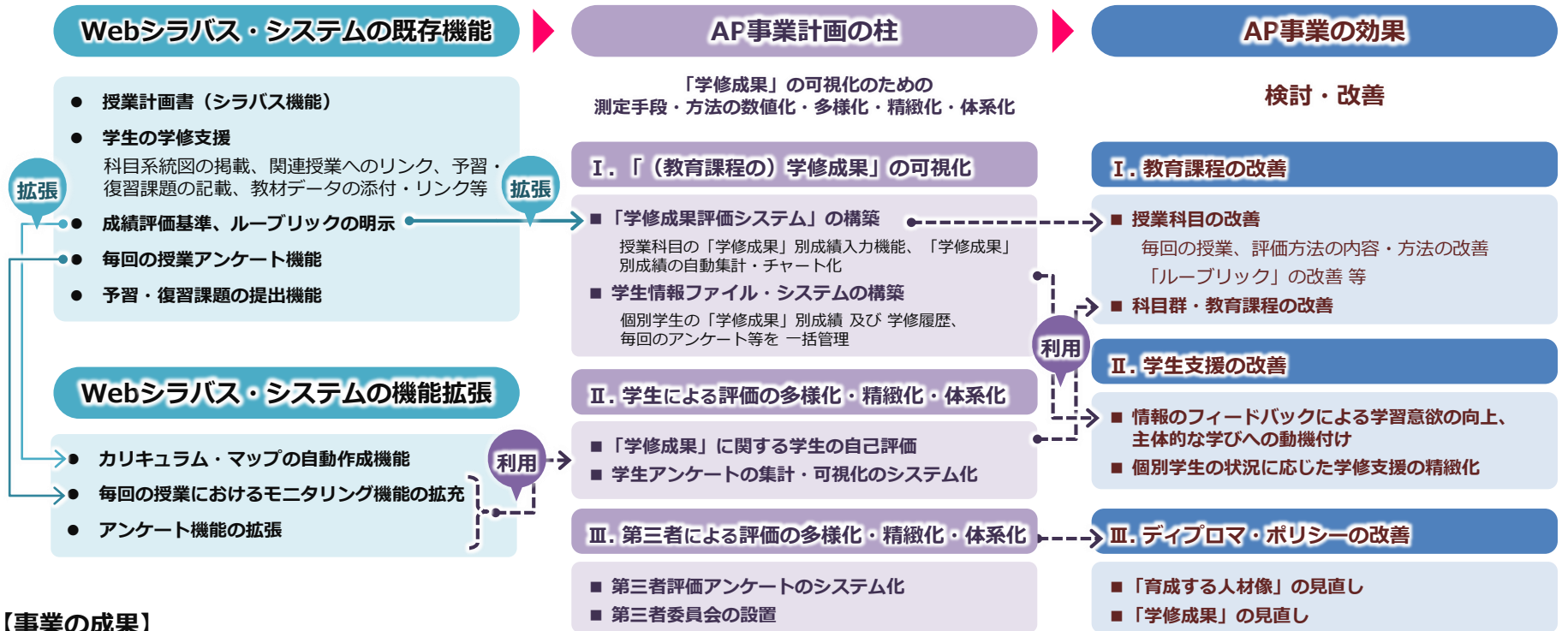


大学等名：富山短期大学

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

「学修成果」の可視化により、PDCAサイクルを実質化し、「学修成果」の継続的な向上と「教育の質保証」の徹底を図る取組。

具体的には、第1に、「学修成果評価システム（LOAS）」の構築。第2に、学生による各種アンケート等の実施による、授業改善と個別学修支援の向上。第3に、第三者評価のPDCAサイクルへの反映。第4に、「学生情報ファイル・システム」の構築による個別学修支援の向上。第5に、FD推進部会・IR推進部会等を中心とする、教職員協働による教育改善・改革の機動的な推進体制の強化。



【事業の成果】

代表的な指標と年度計画	平成26年度 (実績値)	令和1年度 (目標値)	令和1年度 (実績値)
学修成果別成績評価を実施する科目数の割合	0%	80%	46.2%
学修行動調査を実施する対象学生の割合	44.0%	100%	90.9%
学生の授業外学修時間	約8.0時間	20時間	12.4時間



【1. これまでの大学改革の加速】

Webシラバス・システムの構築によって進めてきた学修成果向上のための、授業内容・方法ならびに個別学修支援の改善を加速する。

【2. 大学全体への影響】

教員による学修成果の数量的把握のみならず、学修成果に関する、学生・第三者の多面的な外部評価を体系的に把握することによって、教育の質向上と質保証のための全学的なPDCAサイクルを実質化する。